

第 73 回 再生エネ大量導入・次世代電力 NW 小委員会(5/27)ご説明資料へのコメント

2025 年 5 月 27 日

オブザーバー 東京電力パワーグリッド株式会社 岡本 浩

2030 年度エネルギーミックスに向け、環境省様、国土交通省様、農林水産省様、それぞれにおかれまして、精力的にご対応・取り纏めを頂き、誠にありがとうございます。再生可能エネルギーの更なる導入量拡大に向け期待することとして、以下にコメントさせていただきます。

営農型太陽光の取組について

- 太陽光をはじめとする再生可能エネルギー活用に向けた課題として、設置場所の制約が大きいと考えております。
- 各省庁様にて様々な施策を展開頂いておりますが、それぞれ所管されている土地のリソースには絶対量に差があり、再エネ導入量を加速していくためには、所管面積が大きい土地を有効活用していくことが、大きなインパクトに繋がると考えております。
- この点、日本の国土面積においては、農耕地・耕作地等の農業面積が比較的大きいと認識しており、農業と太陽光発電の共生を実現する営農型太陽光の取組は、非常に有効な施策であると考えており、今後の進展を期待しております。
- 営農型太陽光の課題として、営農に支障が生じるなどの不適切な事例が散見されるのですが、ご提案のとおり、推進すべき望ましい営農型太陽光発電の考え方を整理し、より良い取組へと誘導を図っていただけますと幸いです。

以上、再エネ大量導入に向けた貴重なご議論の一助となれば幸いです。

以 上